

1. VMAP-3 デモデータ作成 (BreedingShift) の利用手順

1-1. VMAP-3 デモデータ作成 (BreedingShift) について

日付が経過すれば、乳量データ及び、繁殖データがどんどん過去になってしまいます。

例えば、発情予定日、妊鑑予定日、乾乳予定日、分娩予定日等は未来の日付ですが、更新しないと1か月も2か月も前の日付になります。乳量データの推移グラフも過去の日付を探さないと表示できなれます 等、説明するうえで不都合な点が出ます。

上記より繁殖データ及び、乳量データをある一定の日数をシフトしてデモデータを作成します。

1-2. デモデータ作成手順

MMD500 の最終の搾乳日付を見れば該当データがどの時点で作成したかが判断できます。

この最終搾乳日からオペレーション日までの経過日数を求め、日付を日数分シフトします。

① 繁殖実績

経過日数を現産次の分娩日、最終発情日、乾乳日、に加算します。

② 繁殖予定日

経過日数を発情予定日、妊鑑予定日、乾乳予定日、分娩予定日に加算して予定日とします。

③ 乳量実績データ

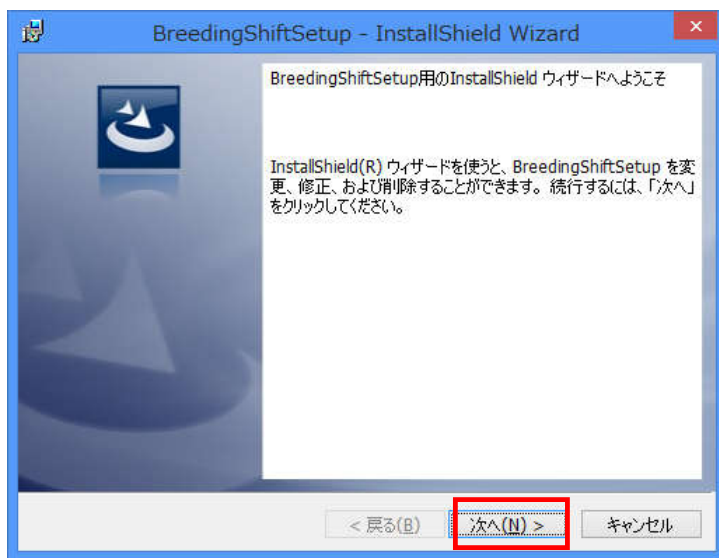
経過日数を搾乳日に加算して搾乳実績データとします。

2. プログラムのインストール方法

2-1. 配布された媒体の Setup.exe をダブルクリックしてインストールを開始します。

① ようこそ

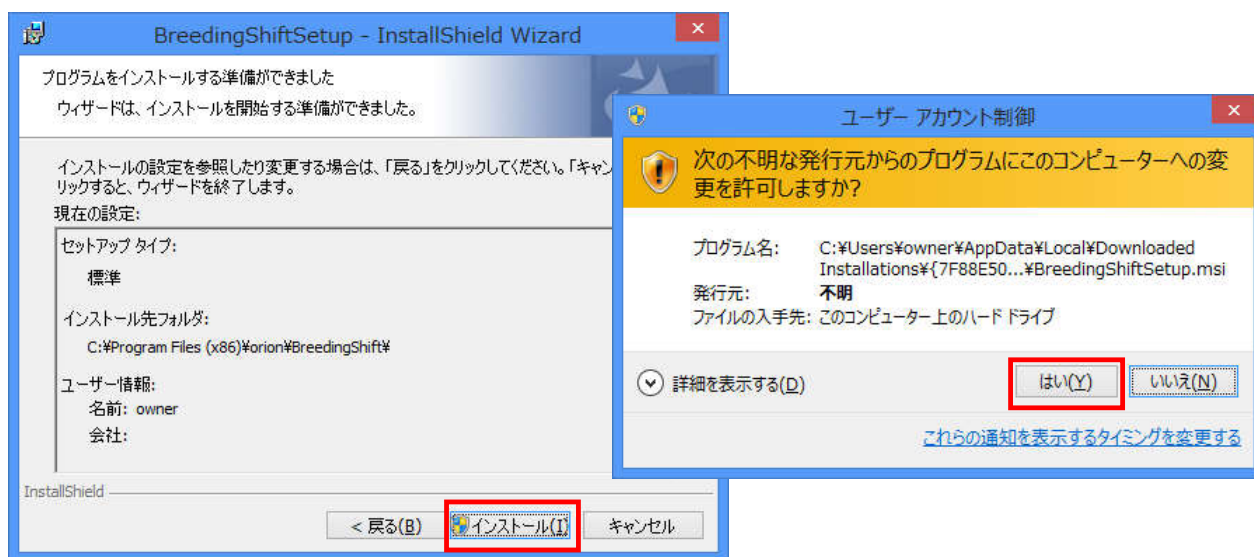
『次へ』ボタンをクリックして BreedingShift のインストールを開始します。



② ファイルのコピー

『インストール』ボタンをクリックしてください。

ユーザアカウント制御画面が起動しますので『はい』ボタンをクリックしてください。



① インストールの完了

『完了』ボタンをクリックして終了です。



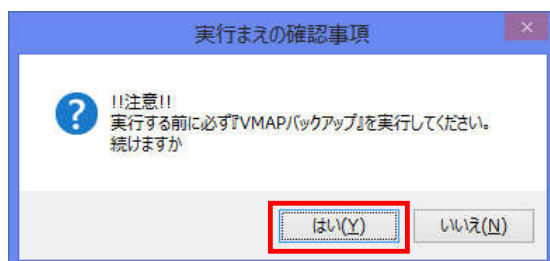
インストール終了後にデスクトップに BreedingShift のアイコンが表示されます。



インストール時に作成されたアイコン

2-2. 起動方法

Breedingshift のアイコンをダブルクリックすると、ファイルのバックアップがあるかの画面を表示します。バックアップがある場合は、『はい』ボタンをクリックしてください。ない場合は、VMAP-3／システム／VMAP バックアップよりデータのコピーを必ず作成してください。



注. プログラムでデータを変更すると、データを元に戻せません。

3. プログラム仕様

3-1. 画面説明

(1) レイアウト

(2) 項目説明

項番	項目	説明
①	最終搾乳日	MMD500 で搾った最終日付
②	基準日より増減する日数	初期では、現在日－項目①最終搾乳日
③	『日付変更』ボタン	上記②の日数で、分娩日、最終受精日、乾乳日等を表示します。 終了すると、最終搾乳日に更新後の最終搾乳日を表示します。 尚、この時点で日付の更新はされません。
④	『更新』ボタン	リスト表示された項目を更新します。3-2. 更新データ一覧を参照 尚、更新した日付は、元に戻りません。
⑤	『再読込』ボタン	再度、データを読み込みます。

3-2. 更新データ一覧

(1) 変更データ

項番	項目名	主な表示画面	備考
1	フレッシュチェック予定日	乳牛個体台帳 基本台帳	
2	発情予定日		
3	妊鑑予定日		
4	乾乳予定日		
5	分娩予定日		
6	分娩日	乳牛個体台帳／繁殖台帳 ／繁殖明細	
7	最終授精日 疾病日		
8	フレッシュチェック日		
9	妊鑑日		
10	乾乳日		
11	搾乳日付	搾乳回数別乳量リスト	
12	搾乳開始時間		
13	搾乳終了時間		
14	搾乳日付	搾乳回数別乳量リスト ／グラフ表示	
15	搾乳開始時間		
16	搾乳終了時間		
17	搾乳日付	今日の情報 ／搾乳エラー	
18	搾乳開始時間		
19	搾乳終了時間		
20			

(2) 未対応画面

今日の情報／機器エラー

日乳量リスト／月別リスト

給飼履歴リスト